

## 一般会計

歳入総額 372億9,882万円

歳出総額 361億6,263万円

市の会計のうち、基礎的な経理を中心とした会計です。

令和6年度の予算は主に次のように使われました。主なもののため、合計は一致しません。(万円未満四捨五入)

## 令和6年度決算を認定

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、前年度の決算について議会の認定を受けなければなりません。

9月18日、19日の2日間にわたり開催された予算決算委員会において決算内容を審査し、本会議最終日に全ての決算を認定しました。

## 特別会計・企業会計

一般会計と分けて経理する必要があるため、事業別に分けられた会計です。

※万円未満四捨五入

|      |         |       | 歳入総額(A)    | 歳出総額(B)    | 差引額(A)-(B) |
|------|---------|-------|------------|------------|------------|
| 特別会計 | 国民健康保険  |       | 78億1,961万円 | 77億967万円   | 1億994万円    |
|      | 後期高齢者医療 |       | 9億2,942万円  | 9億2,753万円  | 189万円      |
| 企業会計 | 水道事業    | 収益的収支 | 12億3,631万円 | 11億5,992万円 | 7,639万円    |
|      |         | 資本的収支 | 1億4,057万円  | 6億55万円     | ▲4億5,998万円 |
|      | 下水道事業   | 収益的収支 | 25億9,975万円 | 24億8,910万円 | 1億1,065万円  |
|      |         | 資本的収支 | 8億1,275万円  | 13億1,260万円 | ▲4億9,985万円 |

水道および下水道事業会計(資本的収支)の不足分は、損益勘定留保資金などで補填されました。

問

本市の支援策が高校生世帯の通学費用の負担の軽減とともに、バス利用促進に効果があることが分かった。

答

高校生およびその保護者に路線バス利用調査アンケートを実施した結果、どのようなことが分かったのか。

### 産学官連携推進事業

問

令和5年度の実績は2団体であったが、新型コロナウイルスの影響が考えられるため、引き続き、この補助金の周知や活用促進に努めていきたいと考えている。

答

令和6年度は6団体に計40万9千円を支援したとあるが、この補助金の活用状況をどのように捉えているのか。

### 市民協働まちづくり推進事業



総務費  
58億4,081万円

問

相談受付は行ったものの、計画的な就労支援が必要と判断される方がいなかったため、結果としてプラン作成実績は0件になっている。

答

支援が終了している方もいて、相談対象者の170件全てを継続して支援しているわけではないとのことだが、このプラン作成実績が0件であった要因は何だったのか。

### 生活困窮者自立支援事業

問

当事者団体の活動の周知などには協力している。当事者団体の活動を広く知ってもらうことで、会員の確保につながる支援を行っている。

答

当事者団体の会員の確保について、市は何か支援しているのか。

### 福祉団体活動支援事業



民生費  
94億1,608万円